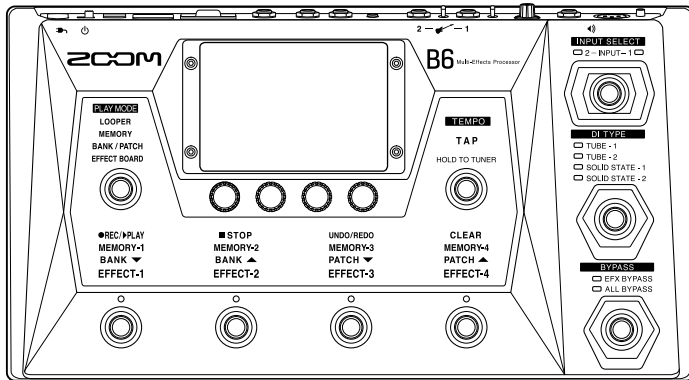


B6

Multi-Effects Processor



クイックツアー

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください



オペレーションマニュアルは、ZOOMのWEBサイト(www.zoom.jp/docs/b6)からダウンロードできます。このページには、PDF形式とHTML形式のファイルがあります。PDFは、紙に印刷する場合やパソコンでの閲覧に向けたファイル形式です。HTMLは、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けたファイル形式でブラウザで読むことができます。

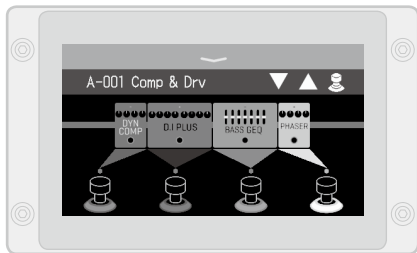
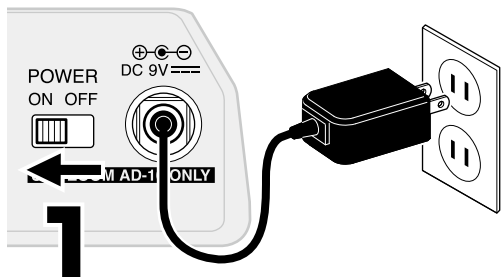
© 2021 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

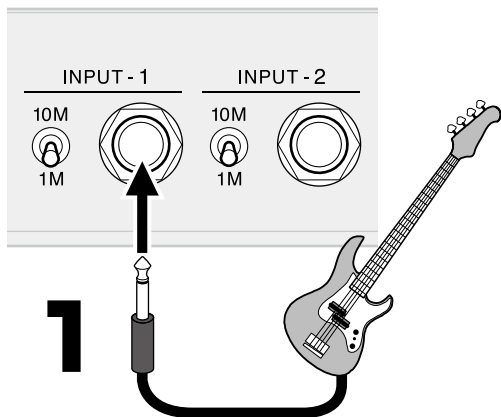
本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

電源を入れる







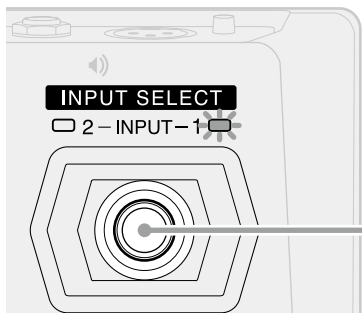
初期設定では ECO モードが“ON”に設定されており、操作が行われないうちに 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。ECO モードは“OFF”にすることもできます。

接続する

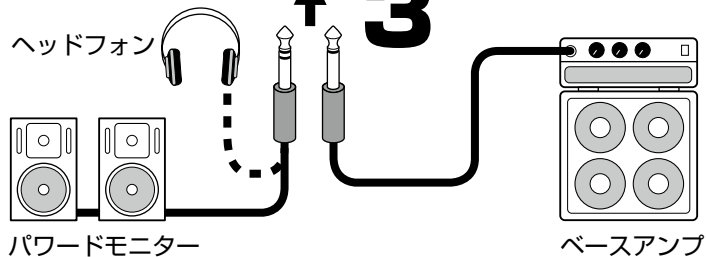
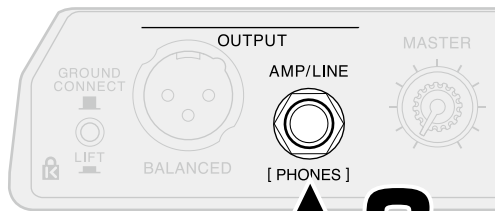


インピーダンススイッチ

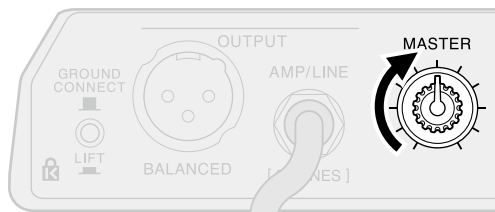
- | | |
|--|----------------------------------|
| 
10M

1M | 一般的なエレクトリックベースを使用する場合 |
| 
10M

1M | ピエゾピックアップを搭載したアコースティックベースを使用する場合 |



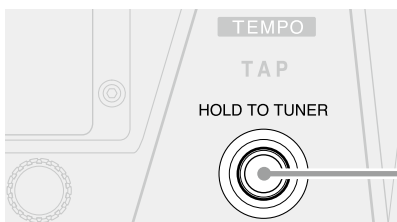
2 使用する入力チャンネルを選択します。



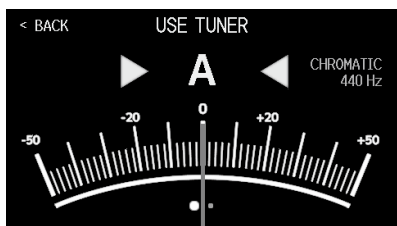
ノイズの発生や故障を防ぐために、パワードモニターやベースアンプは接続が終わってから電源をオンにしてください。



チューニングを合わせる



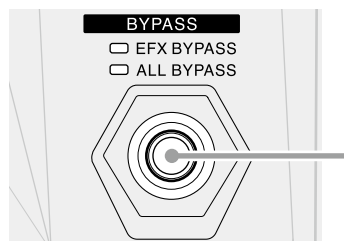
1 長押しでチューナーを起動します。もう一度押すとチューナーを終了します。



- チューニングしたい弦を開放で鳴らします。
- 最寄りの音名とピッチのズレが表示されます。
- ▶◀ が緑に点灯するようにチューニングします。

バイパスする

ベースアンプなどのEQ や音量は、B6のエフェクトをバイパスすると調節しやすくなります。



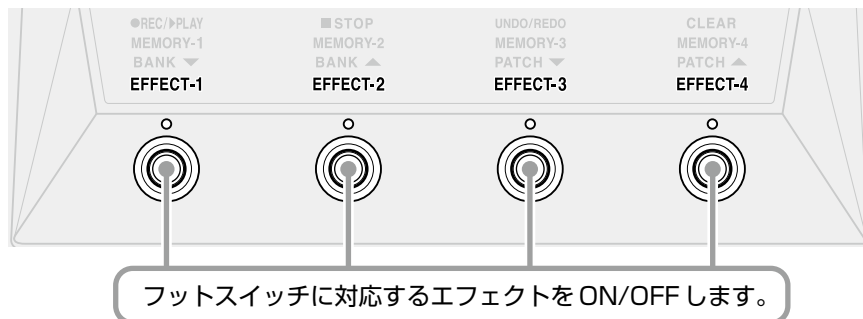
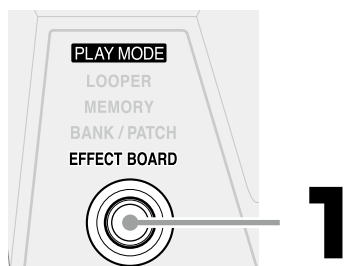
EFX BYPASS	エフェクト部をバイパス (DI セクションのみ使用)
ALL BYPASS	すべてをバイパス
消灯	バイパスしません

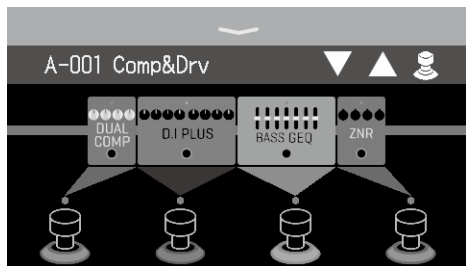
演奏スタイルに合わせて PLAY MODE を選択する

選択した PLAY MODE に合わせてタッチスクリーンとフットスイッチの機能が変わります。

EFFECT BOARD

パッチメモリーで使用しているエフェクトやアンプモデルをタッチスクリーンに表示します。フットスイッチでエフェクトの ON/OFF ができます。





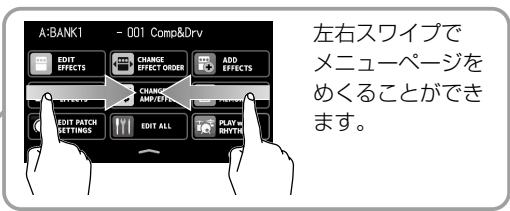
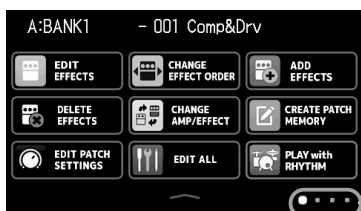
- ▼ ▲ をタップするとパッチメモリーを選択できます。
- 各モジュールのスピーカーアイコンをタップするとエフェクトアイコンをタップしてフットスイッチへの割り当てと解除ができます。

■ エフェクトの設定を変更する



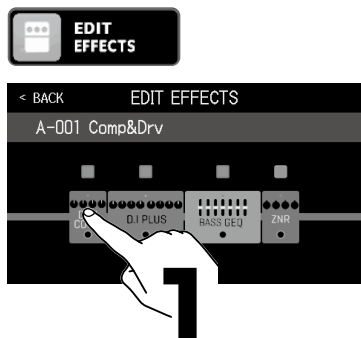
メニューを開いてアイコンをタップすると各設定の変更ができます。

メニューを閉じるときは上に向かってスワイプします。

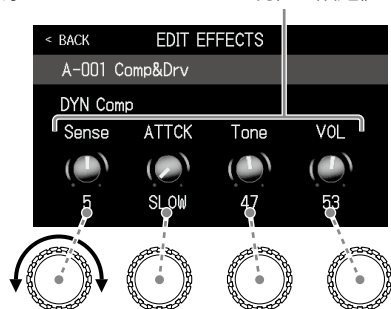


左右スワイプでメニューページをめくることができます。

■ エフェクトのパラメータを調節する

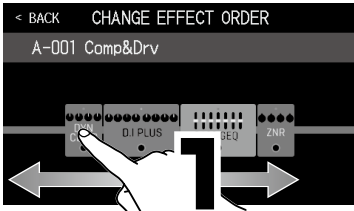


調整できるパラメーター、現在の設定値

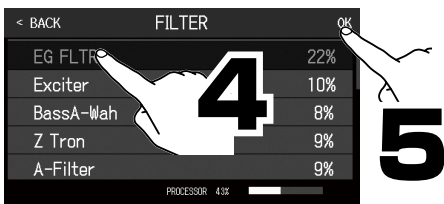
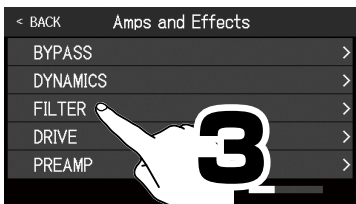
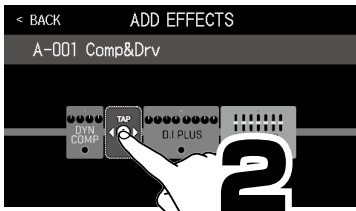
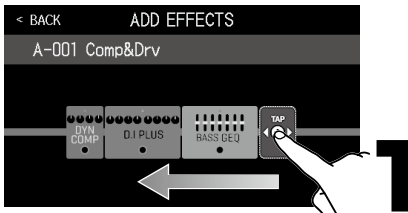


< BACK をタップすると前の表示に戻ります。

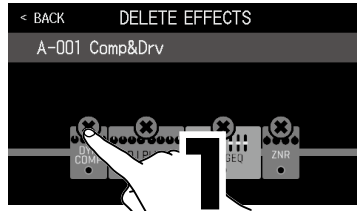
■ エフェクトを並べ替える



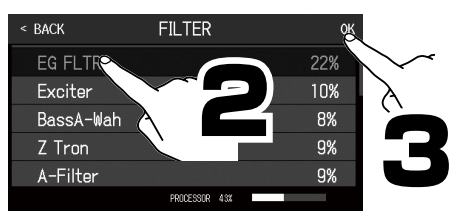
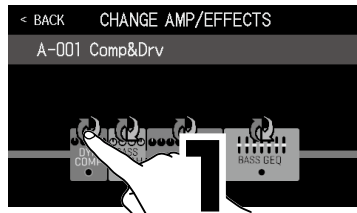
■ エフェクトを追加する



■ エフェクトを削除する



■ エフェクトを変更する



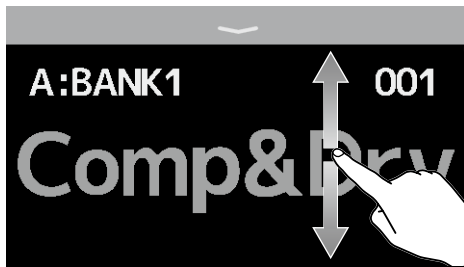
処理状況が 100% を超えてしまうエフェクトを選択すると、以下が表示されエフェクトが選択できず元の画面に戻ります。



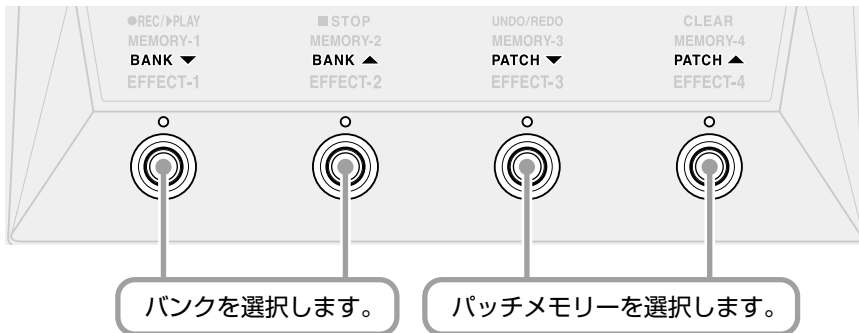
BANK/PATCH

エフェクトやアンプモデルのパラメーターや ON/OFF の設定を保存したパッチメモリーをフットスイッチを使って選択できます。

バンクとは、パッチメモリーを 4 個単位でまとめたものです。

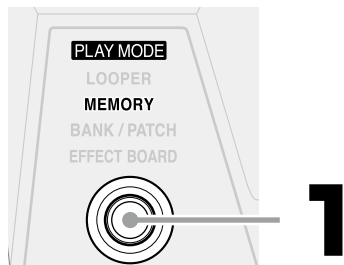


タッチスクリーンを上下にスワイプしてパッチメモリーを選択することもできます。

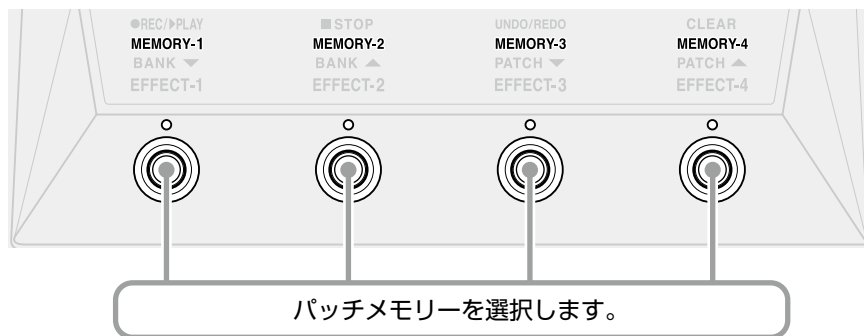


MEMORY

バンク内の4つのパッチメモリー名を表示してフットスイッチで選択できます。

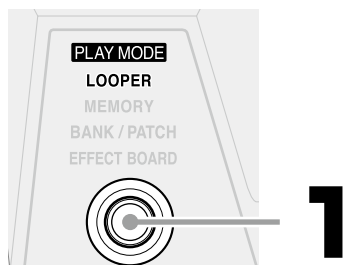


▼ ▲ をタップするとバンクを選択できます。



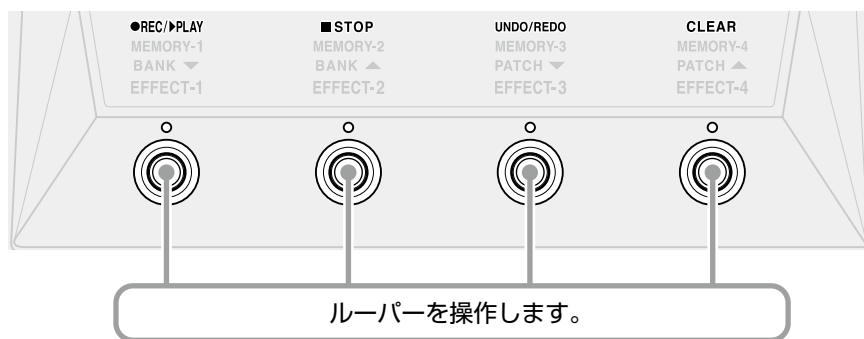
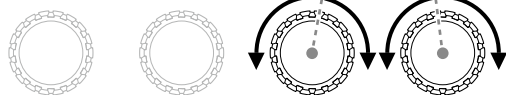
LOOPER

演奏したフレーズを録音してループフレーズを作ることができます。



ルーパーの設定は、パラメーターノブを回したり、タッチスクリーンのアイコンをスライドやタップして変更します。

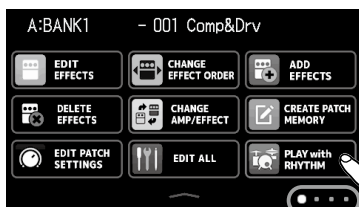
SD カードを使用すると録音時間の拡張／保存ができます。また、SD カードのフレーズを呼び出して再生／オーバーダビングもできます



リズムに合わせて演奏する



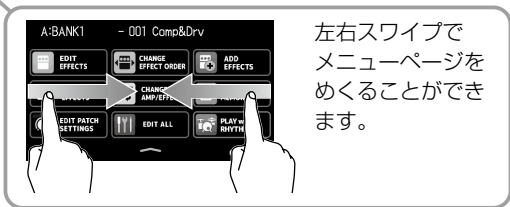
1



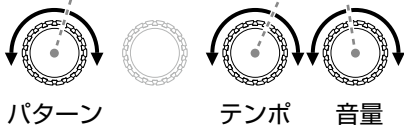
2



3



左右スワイプでメニューページをめくることができます。



パターン

テンポ

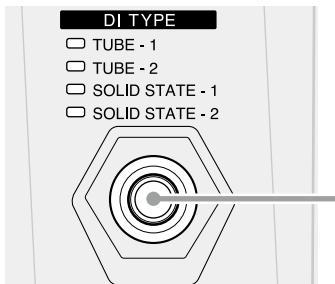
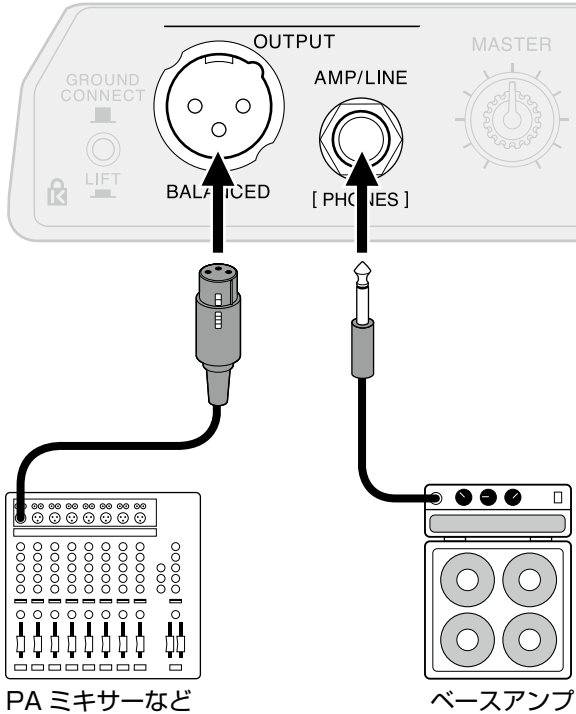
音量

< BACK をタップすると前の表示に戻ります。

DI TYPE を設定する

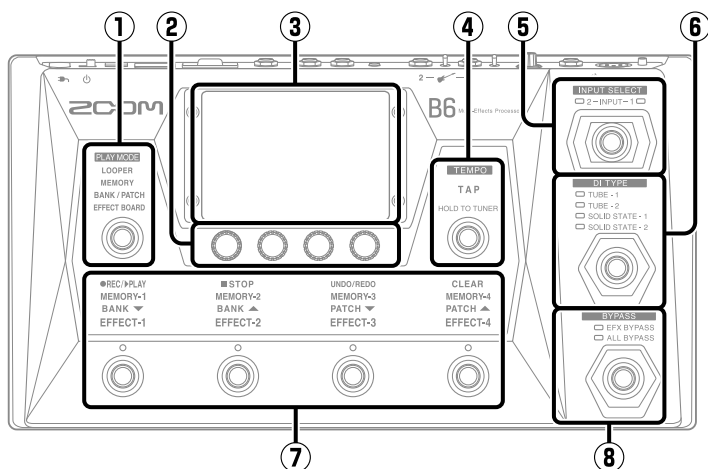
B6 は真空管タイプとソリッドステートタイプの DI 特性を再現した DI セクションを搭載しており 4 種類から選択できます。

DI セクションは XLR (BALANCED OUT) 端子と AMP OUT 端子の両方の出力に有効です。



TUBE-1	豊富な倍音と太い低域が特長の真空管 DI 特性
TUBE-2	明瞭なアタックとタイトな低域が特長の真空管 DI 特性
SOLID STATE-1	適度なコンプレッションとシャープな音色が特長のソリッドステート DI 特性
SOLID STATE-2	歪みの少ないクリアな音色が特長のソリッドステート DI 特性
消灯	DI セクションを OFF します。

各部の役割



① PLAY MODE 選択セクション

B6 の PLAY MODE を選択します (選択したモードが点灯します)。目的に応じて使い分けながら演奏します。

② パラメーターノブ

エフェクトのパラメーター調節、各種設定を行います。

③ タッチスクリーン

パッチメモリーやバンクの選択、設定、B6 本体の設定などをタッチ操作で行えます。

④ タップスイッチ

タップテンポの調節ができます。長押しすると、チューナーを使用できます。

⑤ 入力選択スイッチ

入力を選択します (選択中の入力が点灯します)。

⑥ DI タイプスイッチ

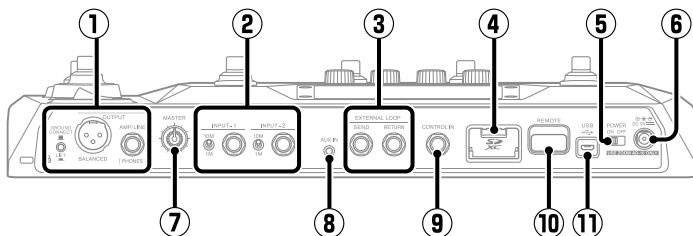
DI のタイプを選択します (選択中のタイプが点灯します)。

⑦ フットスイッチ / フットスイッチ機能表示

パッチメモリーやバンクの選択、エフェクトの ON/OFF、ルーパーの操作ができます。フットスイッチで操作可能な機能が点灯します。

⑧ バイパススイッチ

バイパスの ON/OFF、バイパスのしかたを選択します (選択中の設定が点灯します)。



① 出力端子部

 GROUND CONNECT LIFT	OUTPUT-BALANCED 端子のグランドへの接続/解除を切り替えます。 ・CONNECT (■)：グランドピンがグランドに接地します。 ・LIFT (■)：グランドピンがグランドから切り離されます。グランドループによるノイズが発生したときに有効です。
	OUTPUT-BALANCED 端子：PA システムに接続します。
 AMP/LINE [PHONES]	AMP/LINE [PHONES] 端子：ベースアンプ、モニタースピーカー、ヘッドフォンを接続します。

② 入力端子部

ベースを接続します。

	INPUT 1、2 端子：ベースを接続します。
10M 1M	インピーダンス選択スイッチ 1、2：接続するベースに合わせてインピーダンスを切り替えます。

③ EXTERNAL LOOP 端子

外部エフェクターを接続します。

 SEND	SEND 端子：外部エフェクターの入力端子と接続します。
 RETURN	RETURN 端子：外部エフェクターの出力端子と接続します。

④ SD カードスロット

SD カードをセットすると、以下のことができます。

- ・ループフレーズの録音時間の拡張/保存

- ・インパルス・レスポンスデータの読み込み
- ・B6 をカードリーダーとして使用
- ・ファームウェアアップデート SD/SDHC/SDXC 規格対応カードに対応しています。

⑤ 電源スイッチ

電源を ON/OFF します。

⑥ DC9V AC アダプター端子

専用の AC アダプター (ZOOM AD-16) を接続します。

⑦ マスターノブ

B6 の音量を調節します。

⑧ AUX IN 端子

携帯音楽プレーヤーなどを接続します。

⑨ コントロール入力端子

エクスプレッションペダル (ZOOM FP02M) を接続して、ペダルエフェクトの調節をします。

⑩ REMOTE 端子

専用無線アダプター (ZOOM BTA-1 など) を接続します。
iOS/iPadOS アプリケーション「Handy Guitar Lab for B6」を使って、iPhone/iPad からワイヤレスで B6 を操作できます。

⑪ USB (Micro-B) 端子

パソコンを接続すると、以下のことができます。

- ・B6 をオーディオインターフェースとして使用
- ・Guitar Lab を使って B6 を操作
- ・B6 をカードリーダーとして使用

メニューアイコン

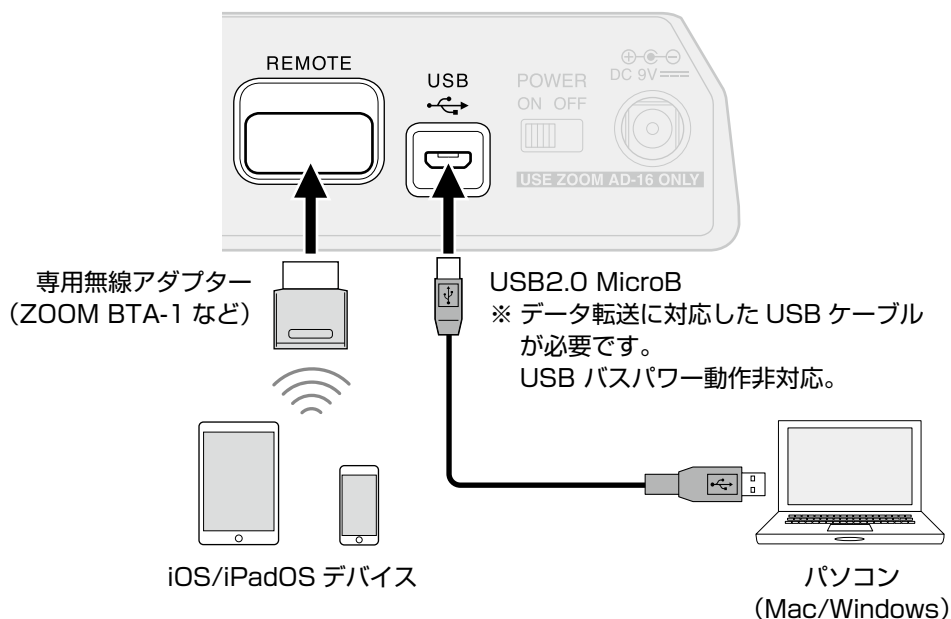
メニュー画面のアイコンをタッチして表示される機能の一覧です。

	エフェクトのパラメーターを調節します。		パッチメモリーのエフェクトを並び替えます。
	パッチメモリーにエフェクトを追加します。		パッチメモリーからエフェクトを削除します。
	パッチメモリーのエフェクト／アンブを変更します。		パッチメモリーを作成します。
	パッチメモリー名やパッチレベルの設定を行います。		パッチメモリーの全ての設定を行います。
	リズムを使用します。		センド／リターンの設定を行います。
	インパルス・レスポンス (IR) を使用します。		インパルス・レスポンス (IR) データを読み込みます。
	バンクを作成します。		バンクの並び順を変更します。
	パッチメモリーの並び順を変更します。		バンクを削除します。
	パッチメモリーを削除します。		パッチメモリーを保存します。
	システム設定の変更や確認、SD カードの管理を行います。		エフェクトやリズム、ルーパーで使用するテンポを設定します。
	USB オーディオの設定を行います。		オートセーブ機能の ON/OFF を切り換えます。
	タッチスクリーンの明るさを調節したり、ECO モードの ON/OFF を切り換えます。		チューナーの詳細設定を行います。

 <p>チューナーを使用します。</p>	 <p>各入力チャンネルごとに出力音の音質等を設定します。</p>
 <p>プリセレクト機能の ON/OFF を切り替えます。</p>	 <p>タッチスクリーンにパッチメモリー名を大きく表示してパッチメモリーを選択します。</p>
 <p>タッチスクリーンにパッチメモリーで使用しているエフェクトを表示します。</p>	 <p>バンク内の4つのパッチメモリーをフットスイッチで選択できます。</p>
 <p>ルーパーを使用します。</p>	

Guitar Lab と USB インターフェース

パソコン用アプリケーション「Guitar Lab」や iOS/iPadOS 用アプリケーション「Handy Guitar Lab for B6」を使用して、パッチメモリーの管理やエフェクトの編集・追加ができます。また、B6 をパソコンのオーディオインターフェースとして使用することもできます。



故障かなと思う前に

電源が入らない

- 電源スイッチが“ON”になっていることを確認する。
- 接続を確認する。

ノイズが多い

- シールドケーブルが正常であることを確認する。
- ZOOM 純正の AC アダプターを使用する。

音が出ない、非常に小さい

- 接続を確認する。
- 選択している入力チャンネルが正しいかどうか確認する。
- 各エフェクトのレベルを調節する。
- パッチメモリのレベルを調節する。
- アウトプットボリュームを調節する。
- チューナーを OFF にする（チューナー使用中は音がミュートされます）。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

Windows® は、Microsoft® 社の商標または登録商標です。Mac、iPhone、iPad、iPadOS は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

iOS は、米国をはじめとする国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用しています。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

ZOOM®

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

zoomcorp.com